

令和5年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

学年	小六
	氏名
※次のむすび方でもよい。「ま	
学びて時にこれを習う、	
またよろこばしからずや。	
ともあり、遠方より来る、	
また、楽しからずや。	

第12回全国書写書道総合大会 主催 一般社団法人日本書字文化協会 共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構

課題解説

論語

今から約2500年前の中国の思想家、孔子こうしが言ったことをまとめた「論語ろんご」の有名な一節です。

勉強したことを何度も復習しているとはよく分かって自分のもになるのはなんとうれしいことか。また、遠い所から友人が自分を訪ねてくるのはなんと楽しいことだろうか、と言う意味です。

課題文では省略しましたが、人知らずして慍いぎんおらず、また君子ならずや（人が私を知らないからといって不平不満を言うこととはない。これを君子と言う）と続きます。人の在り方を言っているのですね。

（課題文は「書文協ことば会議」選定・創作）